

「誰もが学びやすく居心地のいい学校づくりに向けたアンケートの結果」  
について

# 誰もが学びやすく居心地のいい学校づくりに向けたアンケート

## 1. アンケートの概要

### 【目的】

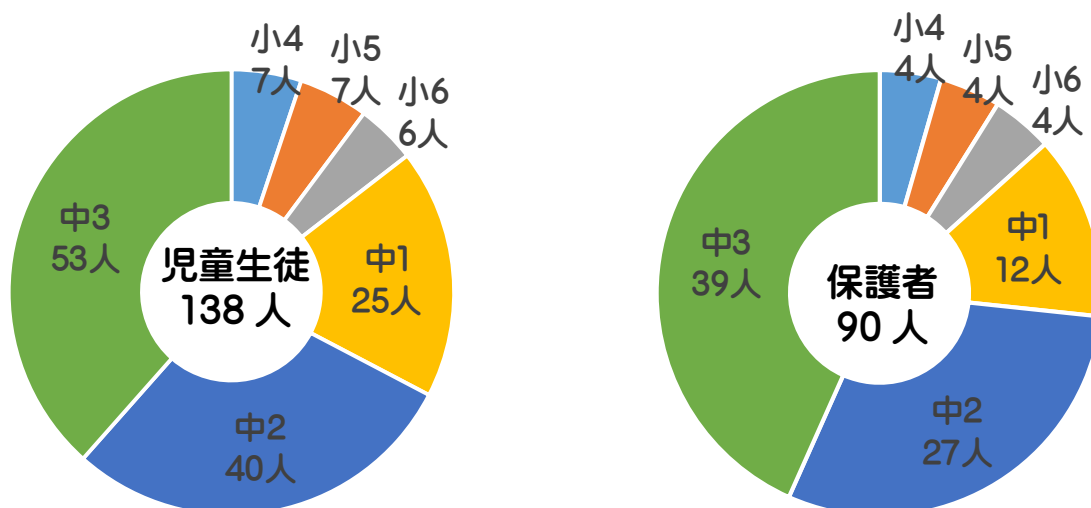
不登校（傾向）の子どもたちにとって、どのような学校だったら行きたくなるのか、また、どのような学校を求めているのかを把握し、今後の不登校対策や支援方法の検討を含め、誰もが学びやすく居心地のいい学校づくりを目指す。

### 【実施期間】

令和6年2学期始業日～10月末

### 【調査対象】

○下記の場所で支援を受けている小学校4年生～中学校3年生の児童生徒及びその保護者  
 校内サポートルーム 指定校11校（不登校支援推進プロジェクト事業）  
 教育支援センター 24カ所  
 高知県心の教育センター



回答方法	児童生徒		保護者	
	紙面回答	Web回答	紙面回答	Web回答
小4	7	0	3	1
小5	6	1	1	3
小6	5	1	1	3
中1	18	7	5	7
中2	35	5	18	9
中3	46	7	27	12
小計	117	21	55	35
合計	138		90	

○中学校の校内サポートルームでヒアリングによる調査を行ったことから中学生の回答が多い。  
 ○校内サポートルームや教育支援センターを利用している児童生徒も学年が上がるにつれて多くなる傾向。

## 【調査方法】

調査への参加の可否を問い、調査可能な児童生徒・保護者については、児童生徒や保護者の状況を考慮のうえ、ヒアリング形式で確認するか、一人一台端末で Google フォームを活用したオンライン回答とする（紙面回答も可）。保護者については、二次元コードから携帯端末等での回答も可とする。 ※児童生徒、保護者のいずれかのみでの回答でも可

## 【調査項目】

### 質問1 学年

◇何年生ですか。

### 質問2 環境や内容について

◇どのような環境や内容があれば、あなたにとって「学びやすく居心地のいい学校」になると思いますか【複数回答可】

#### 【学びの環境・方法】

- |                 |                              |                |
|-----------------|------------------------------|----------------|
| ア 一人で学べる        | イ 少人数で学べる                    | ウ 校内の好きな場所で学べる |
| エ 受けたい授業を自分で選べる | オ 授業を教室以外の場所や自宅からオンライン配信で学べる |                |
| カ タブレットで繰り返し学べる | キ 本やインターネットを使って、自分で調べて学べる    |                |
| ク その他（記述）       |                              |                |

#### 【学びの内容】

- |                                    |                 |
|------------------------------------|-----------------|
| ア 教科書の内容を学ぶ                        | イ 受験に向けた内容を学ぶ   |
| ウ 学年に関係なく、苦手なところから学ぶ               | エ 地域の人や企業の人から学ぶ |
| オ 高知県以外の人や企業の人から学ぶ                 |                 |
| カ 学校内での体験活動（調理実習やスポーツなど）を通して学ぶ     |                 |
| キ 学校外での体験活動（ボランティア活動や自然体験など）を通して学ぶ |                 |
| ク 自分の興味のある分野を学ぶ                    | ケ その他（記述）       |

#### 【居心地のいい環境】

- |                              |                        |
|------------------------------|------------------------|
| ア 登校する日や時間を自分で決められる          | イ 学習する時間を自分で決められる      |
| ウ 学校の決まりを子どもたちで決めたり変更できたりできる |                        |
| エ 一人になれる場所がある                | オ 小グループで集まれる場所がある      |
| カ 先生やカウンセラーにいつでも相談ができる       | キ スポーツ系のクラブ・部活動がたくさんある |
| ク 文化系のクラブ・部活動がたくさんある         | ケ 行事やイベントなどを子どもが決められる  |
| コ その他（記述）                    |                        |

◇その他にもあれば自由に書いてください。

### 質問3 「誰もが学びやすく居心地のいい学校」に通うことについて

◇質問2で答えたような学校ができれば通ってみたい（通わせたい）と思いますか

### 質問4 将来について考えていることについて（今なければ、書かなくてもかまいません）

◇将来について考えていること（大人になったらこうなりたいなど）があれば教えてください。【複数可】※児童生徒のみ

### 質問5 将来のために、したいことについて（今なければ、書かなくてもかまいません）

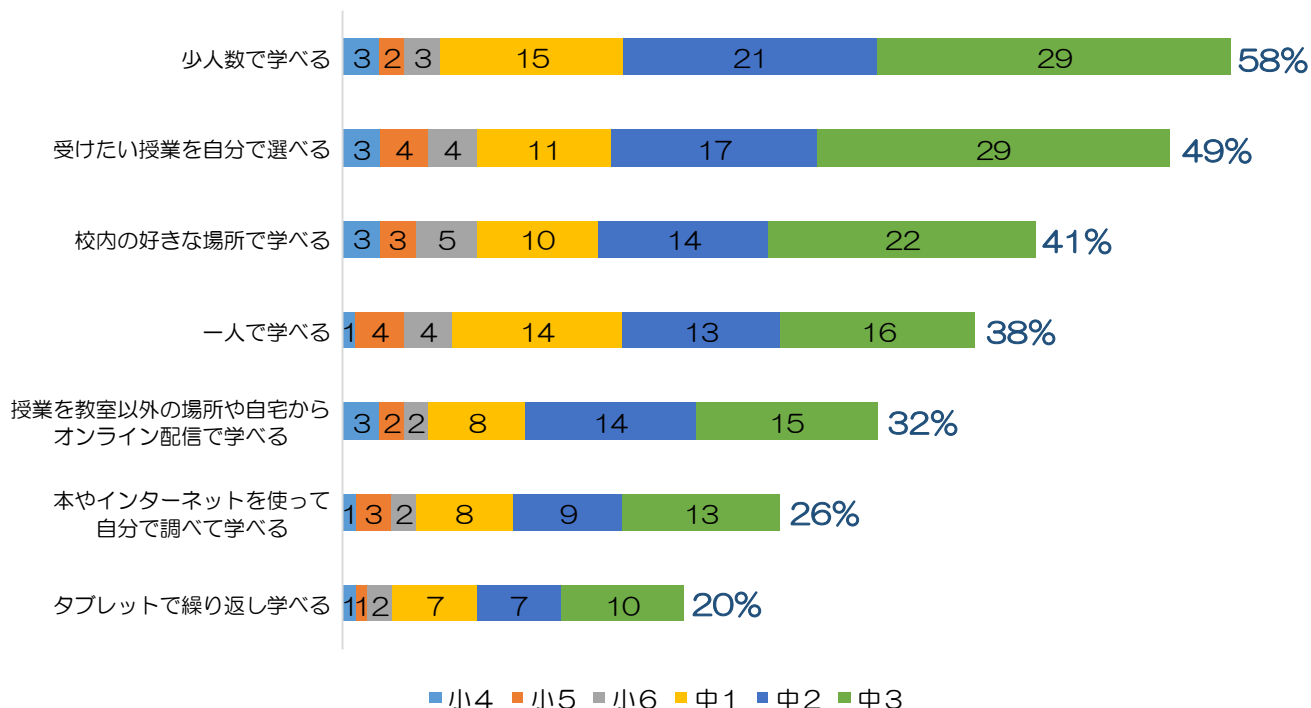
◇将来のために、今どんなことがしたいですか。【複数可】※児童生徒のみ

## 2. 調査結果

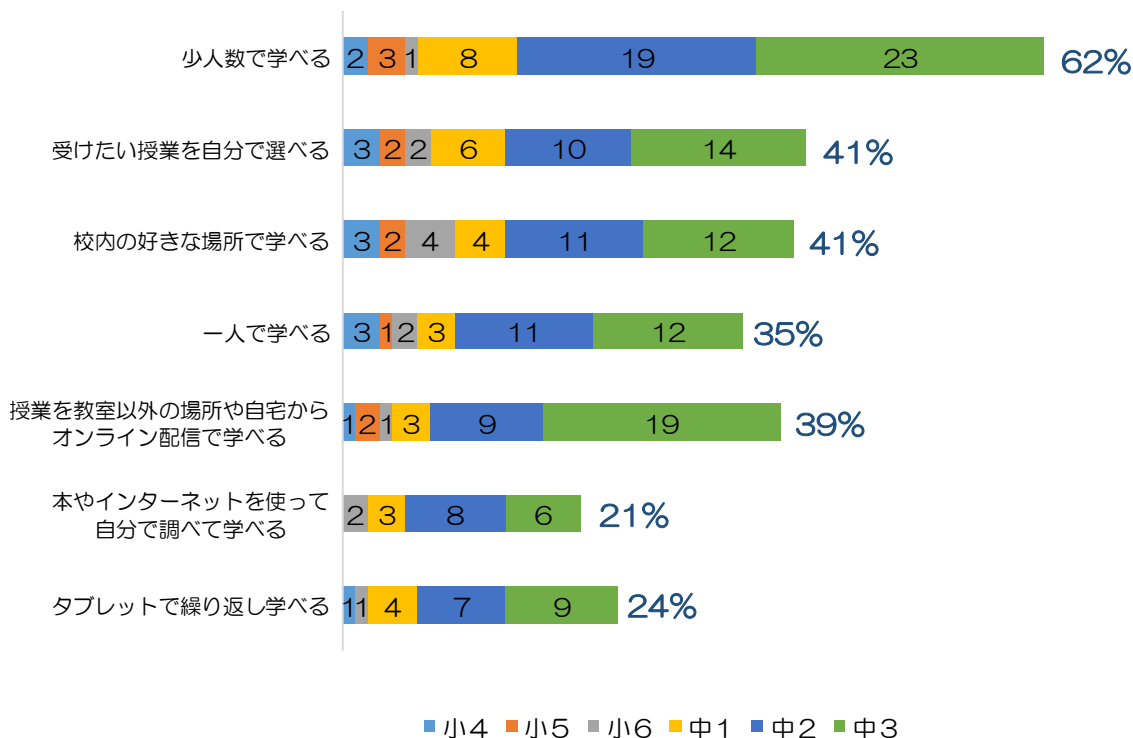
### 【学びの環境・方法】

◇どのような学びの環境・方法であれば、あなたにとって「学びやすく居心地のいい学校」になるとお考えですか【複数回答可】

#### 【児童生徒】



#### 【保護者】



【記述回答】

<児童生徒>

記述回答なし

<保護者>

### ○自主性を大切にした環境

- 自分のやりたいこと、興味をもったことをのびやかに（先回りせず）大人がサポートしてくれる。
- 「失敗」を学びにできる環境。集団であっても比べ合ったり管理、監視されず良いも悪いも認め合える風土が大切。
- 暗記は道具を活用すればできるので、好きなこと、学びの楽しさを知ることこそ学校で感じてほしいし、行きたくなる場になると思う。
- 自主性をもって行動でき、周りと折り合いをつけながら自由に過ごすことが許容される（その試行錯誤、失敗も含めて大人が見守れる）

### ○きめ細やかな支援

- 個々のレベルに合わせた学び。
- 指導教員（大学生など）が2名体制等。
- 専門分野の方々に教えてもらえたり体験できる環境。
- 分からない、ついていけない状態がなくなるような体制、仕組みがあれば、勉強がいやになる子どもが少なくなるかと思います。何のための勉強で今後何に役に立つのかわかるような学びができるといいと思います。
- zoom やオンラインでつながだけでも、臨場感があってリアルタイムで学べると思います。朝型、夜型の子や体調もあるのでアーカイブ動画を後日見られらようにしてほしいです。

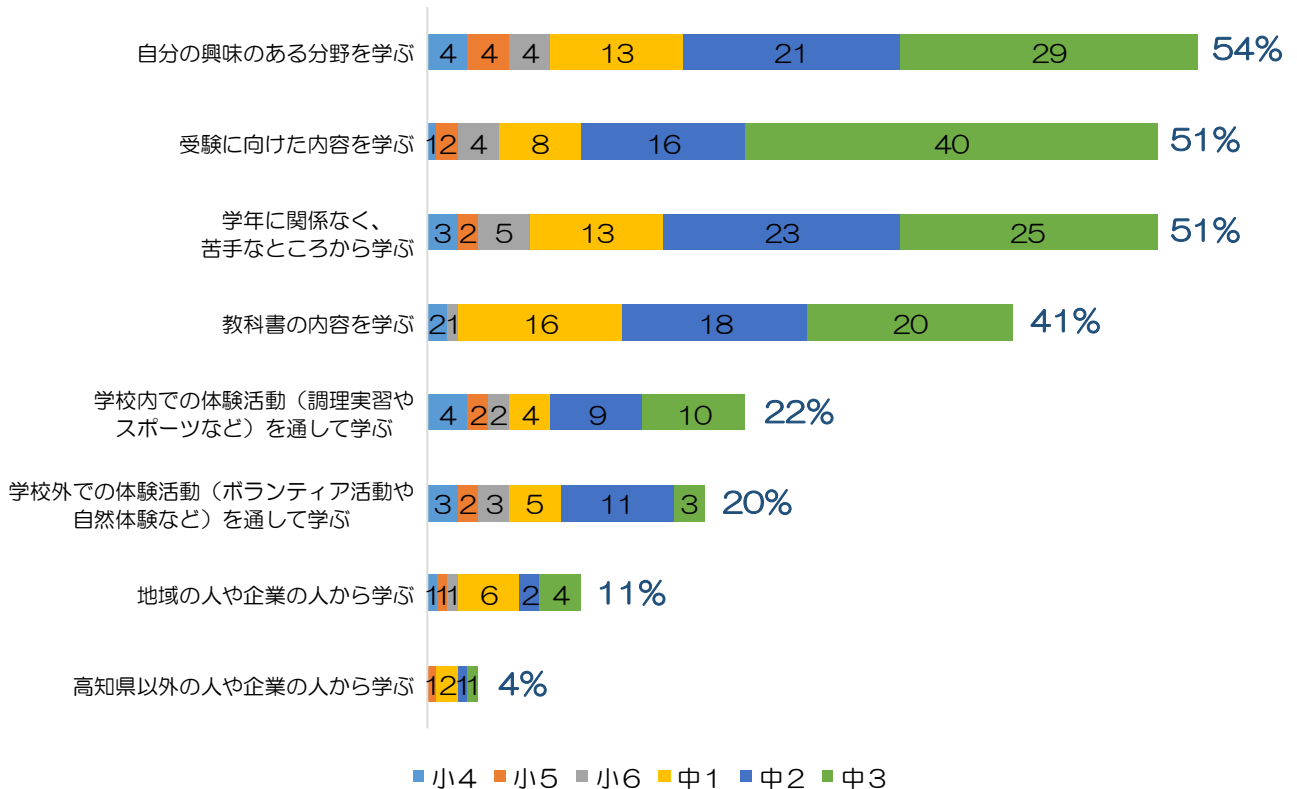
○児童生徒、保護者ともに一人で学べる環境よりも少人数で学べる環境を求める声の方が多く、何らかの形で人と関わる場面を設けることが期待されている。

○タブレットや本、インターネットを使って学べるというニーズが比較的低い反面、受けたい授業を自分で選べる回答が多く、教えて（サポートして）もらいたいという意識があるのではないか。

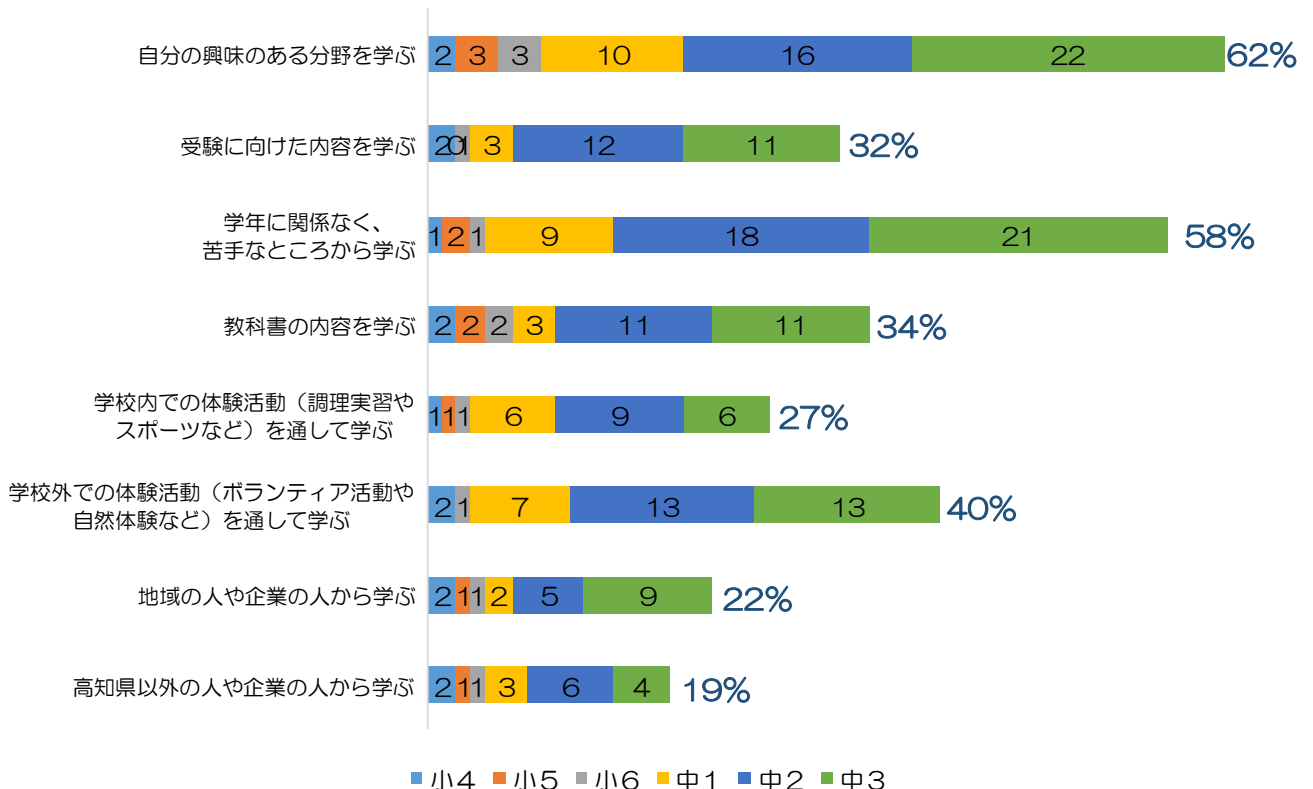
## 【学びの内容】

◇どのような学びの内容であれば、あなたにとって「学びやすく居心地のいい学校」になると思いますか【複数回答可】

### 【児童生徒】



### 【保護者】



【記述回答】

<児童生徒>

### ○興味・関心を生かした学びの提供

- ・自分の興味や他のものもいろいろいれながら楽しく学べる方がいい。
- ・自分の将来について学びたいです。
- ・自分の学習の進度に合った内容の授業が受けられる。

<保護者>

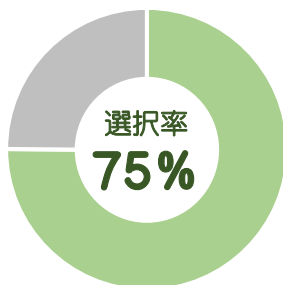
### ○個別最適な学びの提供

- ・知的レベルが違う子どもを同時に指導は難しい。ついていけない子どもには放課後学習があるのに、知的レベルが高い子は、ただただつまらない授業を聞かされ待たされるだけでつまらない。
- ・子供の特性がそれぞれ違うので、勉強学問が向いてる子はそれを、ゲーム、漫画、アニメ、プログラミングが本人がやりたいことなら、その知的好奇心を満たせるようにしてほしい。
- ・夢に向けた学びや体験。将来に直結した学び、コミュニケーションの学び等。

### ◆受験に向けた内容を学ぶ◆

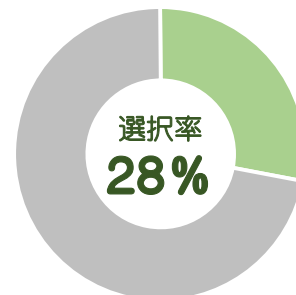
#### 児童生徒 中学3年生

「受験に向けた内容を学ぶ」



#### 保護者 中学3年生

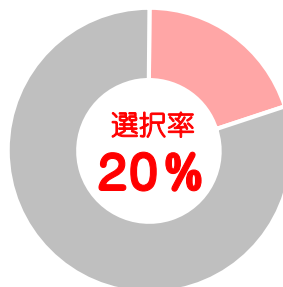
「受験に向けた内容を学ぶ」



### ◆学校外での体験活動（ボランティア活動や自然体験など）を通して学ぶ◆

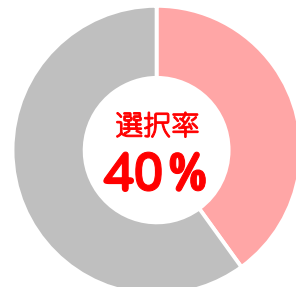
#### 児童生徒

「学校外での体験活動（ボランティア活動や自然体験など）を通して学ぶ」



#### 保護者

「学校外での体験活動（ボランティア活動や自然体験など）を通して学ぶ」



○児童生徒は、体験活動などに比べて、教科の学習や受験に向けた学びを求める傾向にある一方、保護者は、

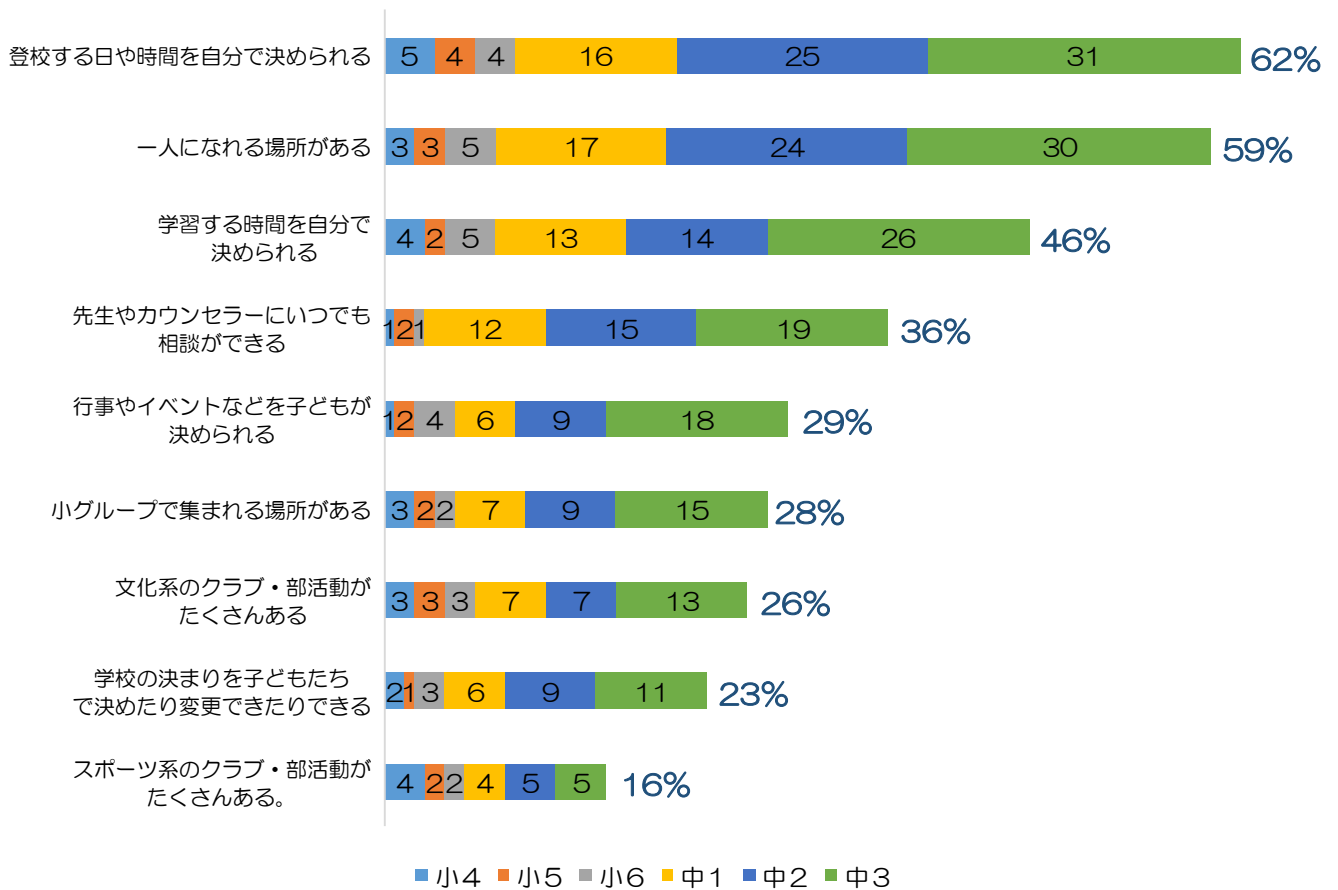
体験活動などを通じた学びに期待する声が多い。

○児童生徒、保護者ともに自分の興味のある分野を学び伸ばしたいという回答が多い。

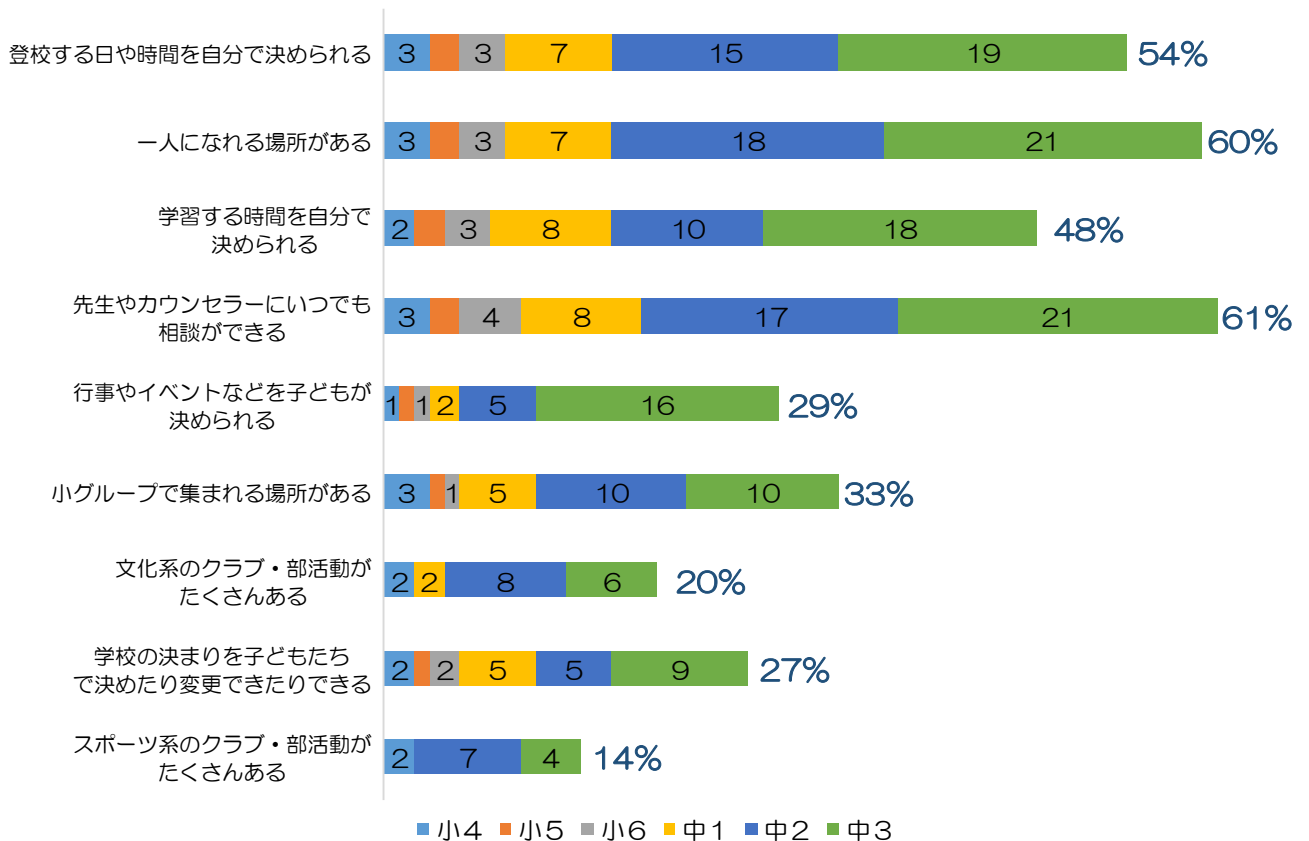
○児童生徒は、教科書の内容を学びたいなど受験を意識している回答が多いが、保護者は比較的低い。特に、受験を控えた中学3年生では、保護者と生徒のニーズに差が見られた。

○児童生徒、保護者ともに、学年に関係なく苦手なところから学びたいという回答が多く、特に保護者は、教科書の内容や受験に向けての学習を大切にしながらも、子どもの興味のある分野や苦手なところをコツコツと学んでほしいという願いがあるのではないかと。

【児童生徒】



【保護者】





【記述回答】

<保護者>

### ○心身ともに休まる場所

- ・疲れたら気軽に休憩できる場所、環境。
- ・静かな場所、人の目を気にせず過ごせる場所がある。

### ○信頼できる大人の存在

- ・居心地のいい環境というのが、子供が登校日や学習する時間を自分で決められる事だとは、あまり思わないが、それでも集団に入って、学ぶ事が苦手な子には、今の時点でも、学び方は、多いに選択肢は、増えるように思います。自立心が芽生える中、未熟さも多い中学生。色々な難しさや困難が見えてくる時期に、どれだけ大人（教育者、保護者）が、子供達と向き合えるかが大事だと思う。大人の向き合い方や意識を学ぶ必要があるように、自分の子育てを通して、痛感します。学ぶ手段は、今沢山あります。それを導く大人の在り方が問われるように思います。
- ・教師等との信頼関係など精神的に居心地のよい環境
- ・一人一人を大切に考えられる環境。

### ○学校の魅力発信

- ・服装の自由（制服、体操服、私服など）
- ・他校にはない楽しくひきつけられるクラブ活動の発信。

○登校時間や学習する時間を自分で決められるなど、自分のペースを大切にしながら生活できる環境に一番のニーズがある。その一方でクラブ・部活動、行事やイベントへの比較的ニーズが少ないことから集団行動に合わせるということに苦手意識もあるのではないか。

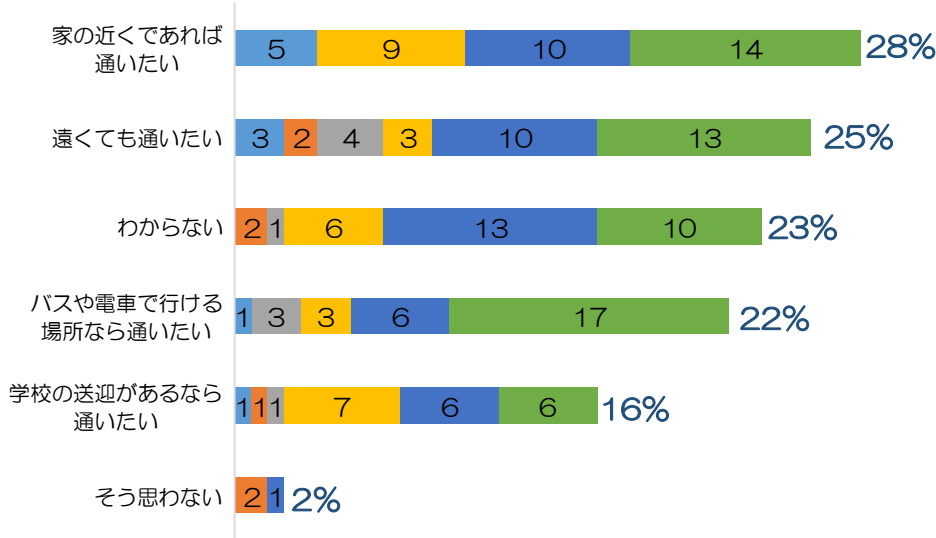
○児童生徒・保護者ともに一人で学ぶよりも、少人数で学べる環境を求めている（〈学びの環境・方法〉参照）が、その一方で一人になれる場所も必要という結果になっている。

○先生やカウンセラーにいつでも相談できる環境については、児童生徒からの要望もあるが、保護者の方がより必要性を感じている。

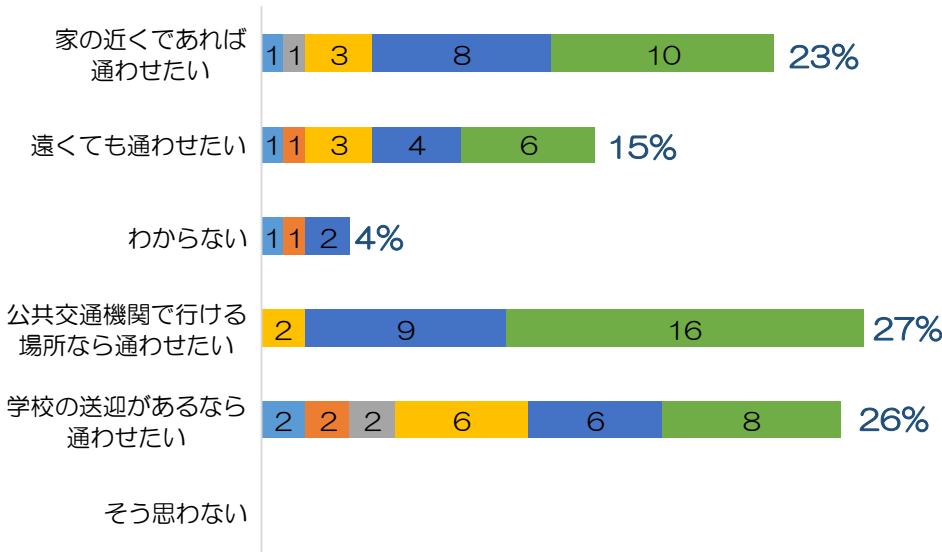
【「誰もが学びやすく居心地のいい学校」に通うことについて】

◇このような学校ができれば通ってみたい（通わせたい）と思いますか

【児童生徒】



【保護者】



■ 小4 ■ 小5 ■ 小6 ■ 中1 ■ 中2 ■ 中3

【記述回答】

<児童生徒>

- ・オンライン配信で学びたい気持ち大きい。県をまたいだりしないなら遠くても通いたいです。
- ・寮があるなら通いたいです。

<保護者>

- ・親としては、通わせたいが本人が納得するかどうかによる。これまで何度もフリースクールや自由学校の見学に行きました。そのとき、子どもは「楽しいけど毎日行きたいわけではない。」と言い、その理由として自分の住んでいるところが好きだからと言いました。環境が変わることへの不安が大きい故の回答だと思います。
- ・遠くても通学には1時間までが、限界かと思います。また、送迎は、とてもありがたいと思います。
- ・家を出るのにエネルギーを使うらしいので、遠い場所だと通えないと思います。送迎となると、時間が決まってしまうので、その時間に合わせて準備をする事がプレッシャーになることもあります。

○児童生徒は、家の近くであれば通いたいという回答が多い中、遠くても学校に通いたいという回答も多い。

○学年が上がるにつれて、公共交通機関を利用して通いたいという回答も多くなった。

○児童生徒は、わからないという回答が比較的多く、「誰もが学びやすく居心地のいい学校」に対するイメージがまだ弱いのではないかと。

## 【将来について考えていること】※児童生徒のみ回答

将来について考えていること（大人になったらこうなりたいなど）への回答を以下のカテゴリーに分類

就きたい職業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットトリマー、デザイナー</li> <li>・クリエイター</li> <li>・保育士</li> <li>・絵を書いたりする仕事</li> <li>・会社員</li> <li>・子供に関係する子供が喜ぶ仕事</li> <li>・ウエディングプランナー</li> <li>・心理学を生かせる仕事（公認心理師、心理カウンセラー、精神科医等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌手</li> <li>・教師 小説家</li> <li>・イラスト関係の仕事</li> <li>・福祉系の仕事</li> <li>・研究者</li> <li>・医者</li> <li>・鑑識（警察関係）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの先生</li> <li>・看護師</li> <li>・ショコラティエ</li> <li>・イラストレーター</li> <li>・自宅のできる仕事</li> <li>・古生物学者</li> </ul>
将来の夢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らし、結婚したい</li> <li>・特技、得意なことを身につけたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画を描きたい</li> <li>・海外に行きたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静かに暮らしたい。</li> </ul>
なりたい人間像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親切な人になりたい</li> <li>・自分らしく生きたい</li> <li>・好きなことに一生懸命な人になりたい</li> <li>・自分の意見を言う大人になりたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周りに迷惑をかけない大人になりたい</li> <li>・地域に貢献していける大人になりたい</li> <li>・いい人になりたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>等</li> </ul>
進学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できれば料理学校とか大学に行きたい</li> <li>・専門学校か大学への進学・音楽の学校に通いたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術系の大学に入りたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>等</li> </ul>

## 【将来のために、したいこと】※児童生徒のみ回答

将来のために、今どんなことがしたいかへの回答を以下のカテゴリーに分類

勉学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の勉強</li> <li>・家庭科の勉強</li> <li>・科学の勉強</li> <li>・デザインの勉強</li> <li>・少なくとも平均レベルの学力がほしいのでちょっとでも勉強がしたい</li> <li>・将来のためになる専攻がある高校に行く数学の勉強 がしたい</li> <li>・高校に合格できる学習能力を身につけたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>等</li> </ul>
知識・技能の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の練習</li> <li>・トリミングの練習</li> <li>・イラストの練習</li> <li>・ダンスの練習</li> <li>・体の構造の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>等</li> </ul>
自身の成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できれば学校に行けだして完全に学校に行きたい</li> <li>・生活面で困ったことができて自分で解決したい</li> <li>・人とのコミュニケーション力を身につけたい</li> <li>・言葉の使い方、人との接し方について考えたり、調べたりしたい。</li> <li>・地域のイベント等に参加して地域での交流を深めたい</li> <li>・将来の夢に向けた大学を考えたりしたい。進みたい職業について詳しく知りたい</li> <li>・障害がある人や困っている人を助けたり、小さい子どもたちとたくさん触れ合ったりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室に入って勉強する</li> <li>・人見知りを改善したい</li> <li>等</li> </ul>

○それぞれの学年で、就きたい職業やどのような人になりたいのかなど、将来について具体的に考えている児童生徒がいる。

○誰かの助けになりたい、喜ばせたいといった回答から誰かのために自分ができることについて意識する面も見られる。

○自分の興味関心があるものや得意な事を将来生かしたいという思いもあると考えられる。

○自分の将来のことを考えるうえで、何が必要かどんなことを学びたいかについて、具体的に考えている回答も多い。

## 【その他記述回答】

### 【児童生徒】

日ごろから先生たちは、学校のルールや決まり、生活の仕方について指導しているが、先生たちには、そのお手本を行動や姿勢で見せてほしい。

### 【保護者】

#### ○教職員に願うこと

- ・先生が安心感と主体性をもてる条件の中で働くこと。このアンケート結果についてとりまとめを公表してもらいたい。
- ・先生方が従来の学習スタイルから外れることはすごく労力がかかり余力がないとできないと感じる。そこから脱するための研修の場（自由度の高い双方向の学習をしている公立小学校など、）を積極的に行ってはどうか。
- ・インクルーシブ教育に力を入れてほしい。文科省や厚労省の e-Gov（各府省の行政情報の総合的な検索・案内・サービスのオンラインサービス）をフル活用していただき、インクルーシブ教育について各教師たちが熟知し、将来ある子どもたちのために支援を進めていただきたい。
- ・今ある学校、教育支援センターを、子どもにとってより良いものになっていくような先生方へのサポート（校長、人員の派遣や、責任の分散、研修）をしてほしい。
- ・先生との関わりの中で子どもが行きづらくなることもあると思います。どのような方法かより、人と人の安定した関係や人権意識を大切にする学校に通わせたい。

#### ○保護者たちのその他の願い

- ・子どもは、大人になりたいのになれない、自分がやりたいことができないことに悩みを抱えているようだ。
- ・今通学している教育支援センターは環境もさることながら先生方も本当に親身になり対応・指導していただき感謝している。また、中学校の担任とも連携をとっていただき、両方からのサポートもしていただけて本当にありがたい。
- ・子供達の公教育に限界を感じている。個性を伸ばす教育や自分で選択できる教育をと思いながらまた、日本ならではの文化もしっかり身につけられる教育を望む。
- ・誰かと比べるではなく、個々のものさしで学びを伸ばせて行ける学校があると心から楽しいと思えるだろうし学校へ行きたいとワクワクできるように思う。大人になった時に振り返りやっぱり楽しかったよねと言える人になってほしいと心から願う。
- ・新たに学校を作り、それを「一つの在り方としていいんだ」という世間の認識が広がることを目指すのはとても素晴らしい。一方で、それが「選択肢の多様化」ではなく、「現在ある学校に通う子どもたちとの分断」になっては絶対にいけないと思う。しんどい人が通うところではなく誰もが選べる学校であるべきだ。
- ・学校の現状は、あまりに窮屈で子どもが本当の意味で「学ぶ」環境になっていない。環境づくりは、子どもと関わる大人が安心して主体性をもってそこに居てくれることから始まる。大人こそ大切な環境だから。新しい学校を作ることも大賛成。一方、「現在ある学校」が今回のアンケート結果を取り入れて変化していくことが同時に必須だと思う。